

## 事業計画発表会

毎年4月、院長より当該年度の事業計画が発表されます。  
今年も4月9日(土)院内ホールにて、昨年度の振り返りとあわせ、23年度の方向性が発表されました。



4月9日(土)新入職員さんも迎えての「新事業年度最初の行事」23年度事業計画発表会が開催されました。冒頭、理事長後藤田公より、今年55周年を迎える記念の年です。50周年の時の、旧棟を再構築するというプランから5年、おかげさまで昨年は新棟、H棟を完成することができました。職員をはじめご支援、ご尽力いただきました地域、行政の方々、ご不便をおかけした患者さん、皆さんのご尽力にお礼申し上げます。との挨拶の後、院長黒田健治より今年の事業計画が発表されました。

事業計画では、昨年の成果(新棟完成や続く病棟再編成、認知症疾患医療センター開設、職員数急増等々)を振り返り、その中で24時間365日の対応ができたか、笑顔で対応できたか、たばこはやめることができたか、広報戦略は機能しているか、などの課題に触れ、今年はいくら克服し、さらにレベルアップできるように努力すること。また病院を取り巻く環境や社会情勢を見極めて取り組んでいくことが確認されました。

そして今年のキーワードは「追及」。人間性・社会性・公共性の追及を目指し、職員が同じ船に乗るクルーとして力を合わせ進んでいきます。どうぞ本年度も地域、近隣、病医院の先生方にはご指導賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

毎年、院長からの新年度事業計画が発表され、これを受けて、各部門、各部署、各人と計画を立てていくのが当院の目標達成までの道筋です。

### 基本方針

**人** 権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

**最** 新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

**光** 「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

**地** 地域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

**信** 頼られる医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定

院内

## 花

院内の花が競って咲きはじめる季節です。  
美しい花の季節をお楽しみください。

## だより



# 光風緑

## ミント

シソ科 ハッカ

学名 Mentha

ミントは数あるハーブの中でも、最も有名なハーブの一つだと思われていますが、その種類は実はとても豊富です。種類は30種類を超えているといわれていますが、阪南病院にはペパーミントと、少しパイナップルミントが育っています。見た目にはほとんど変わりありませんが、葉を揉むと香り立ちます。水にくぐらせると香りが際立ちます。院内にはたくさん育っています。繁殖力も抜群で、長く伸びた茎を切っても大丈夫。特有の匂いのため防虫効果もあります。この時期、お部屋に飾ってもさわやかですよ!

### 外来診察表

外来診察時間 / 9:00 ~ 12:00(受付は11:30まで)

	月	火	水	木	金	土	
診 察	1 診	黒田	柏木	中井	横田	黒田	横田
	2 診	松島	野村	松島	野村	横井	横井
	3 診	西側	澤田	植田	澤田	西側	植田
	4 診	福田	子安	正路	橋元	西岡	
	5 診	佐野	影山	川村	宮里	秋田	
	6 診	呉家	和田貴	吉田綾	吉田綾	土井	呉家
	7 診	村上智	村上智	小深田	和田大	作田	小深田
	8 診	西村	山田	西村	河野い	相馬	和田大
心 1	熊取谷	河野隆	作田	三秋	岩田	熊取谷	
心 2	宋	植月	荒川	清水喜	宋	植月	

ご紹介いただく際は予めご連絡をお願いします

専門外来(睡眠・小児・往診・女性・口腔)は予約制です

医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。

受診の前に下記へお電話ください。

電話 072-278-0381 電話 072-281-6615



### 診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/小児科/歯科

### 病床数

EPU 精神科救急 病棟 168床(C1,H2,H3病棟)  
児童精神科病棟 25床(D1病棟)  
亜急性期病棟 120床(B2,C2病棟)  
メンタルケア病棟 90床(E2,E3病棟)  
老年性精神疾患・認知症病棟 117床(D2,D3病棟)  
MPU 精神科合併症治療 病棟 50床(H1病棟)  
リハビリ 精神療養 病棟 60床(F2病棟)  
認知症治療病棟 60床(F3病棟) 計690床

### 看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 スーパー救急 10:1  
看護師比率70%以上・看護補助 30:1

### 関連施設ご紹介

認知症疾患医療センター  
訪問看護ステーションふれあい  
居宅介護支援事業所  
ヘルパーステーションはんず  
ケアホーム/こもれび・青空・そよかぜ  
堺市中区八田南之町277 阪南病院内 電話072-278-0381  
ケアホームあんずの郷  
堺市中区八田北町309 電話072-278-2233  
地域生活支援センターゆい  
堺市中区深井東町3134 電話072-277-9555



当院は敷地内完全禁煙です



編集・発行 医療法人杏和会 阪南病院 地域医療連携室&総務課広報「光・風・緑」チーム

## フィーリングアーツ



フィーリングアーツは、音楽と光と絵画による体感型の芸術です。創設者である、現代美術作家の北村義博氏が土や墨汁、金色絵の具で描いた作品に様々な色の光を当てると、陰影などで作品の見え方が変わります。立体的、何か模様に見えるなど、体感者の気持ちに伴って、イメージが膨らみます。また光の幻想と同時に音楽や声楽といった聴覚に訴える芸術を融合させることで、より感覚は研ぎ澄まされます。

ストレス過多状態やうつなど心の病気を持つと、人間本来の五感がうまく機能しなくなるといわれます。何を食べても味がしなかったり、匂いに過敏になったり。フィーリングアーツや土に触れる庭園療法などは懐かしさや想像を思い巡らせる過程で五感が刺激されます。少しずつ本来の機能を取り戻す方法のひとつとしてフィーリングアーツや庭園療法が注目されています。(写真は院内での公演の様子)

## 副院長紹介

このたび、内科医井上徹也が副院長として就任いたしました。内科部長、中央検査室長を兼務し、内科領域の更なる充実を図ります。



### 略歴

1987年 滋賀医科大学卒業  
滋賀医科大学・京都きつ川病院・公立甲賀病院を歴任  
2005年 社会保険滋賀病院  
血液内科部長・検査部部長・ICT部長兼任  
2010年 感染制御部長兼務  
2011年 杏和会阪南病院副院長就任

阪南病院は、患者数の増加、高齢化に伴い、身体合併症も増加しています。これらの身体合併症の治療・対応を行うことが、当院が高い水準での総合精神科となるのに必須と考えます。

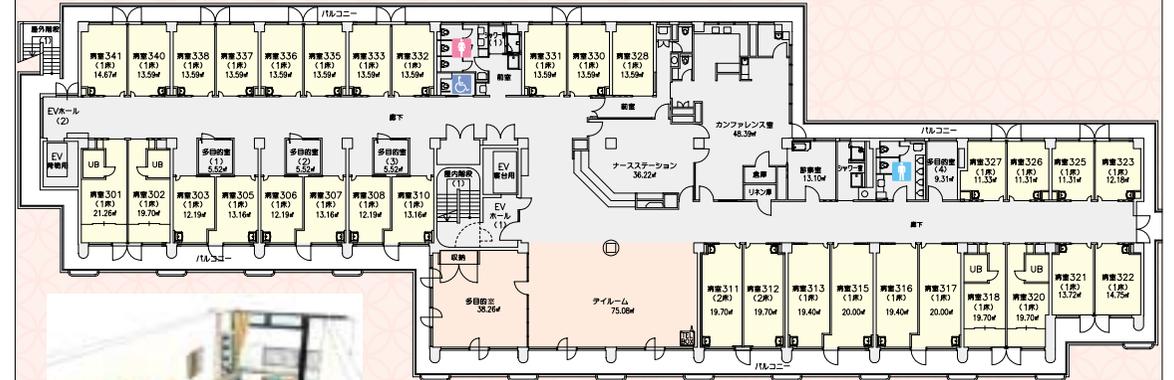
これまで私は、血液疾患を専門に、消化器疾患、感染症対策・管理を行ってきましたが、今後は、身体合併症の対応のため内科全般をみていくことになります。まだまだ、不得意な分野もありますが、私自身も日々進化できるよう努力したいと思います。よろしくお願ひいたします。

## 6月よりメンタルケア病棟リニューアルオープン

6月よりメンタルケア病棟を全個室化し、リニューアルいたします。

近年、社会構造や家族関係の複雑さから心の不調を訴え、うつ状態・睡眠障害・職場不適応・ストレス関連疾患といったところの問題を抱える人が増えています。

当院でもメンタルケアのニーズは高く、当然より良質な治療、ケア、そしてアメニティが求められています。個室の入院待ちが出ることも多く、このたび当該E3病棟は、全個室35床という構造にてリニューアルいたします。リワークなどのプログラムも多用し、更なるくつろぎと癒しの環境を提供します。



尚、病状諸事情により個室使用が難しい場合は、全4床室のメンタルケア病棟55床も稼働しております。両病棟で90床にてストレスケアを実践いたします。

室料		(税込み)
特別個室(ユニットバス付)	20m <sup>2</sup>	5,775円/日
一般個室A	20m <sup>2</sup>	4,725円/日
一般個室B	12.5m <sup>2</sup>	3,675円/日
一般個室C	11m <sup>2</sup>	3,150円/日
2人室(睡眠検査用)	20m <sup>2</sup>	1,575円/日

## 児童精神科開設記念講演会

### 「広汎性発達障害の診断と治療について」

大阪府こころの健康総合センター 亀岡 智美 先生

4月15日(金)児童精神科病棟開設記念講演会として、大阪府こころの健康総合センター亀岡智美先生にご講演いただきました。センターでは、子どもから大人までの発達障害を対象としており、ライフステージを通してさまざまな課題やリスクがある中、発達、障害特性をどう理解するか、大切なのはご本人のペースを尊重するために、早く見立ててその人のペースに周りが気付く。それに沿った対応を周りが模索することが重要です。とお話になりました。

「発達障害の捕らえ方として、マイペース、せかせかしている、集中できないなどの特徴は、通常の発達で全く見られないものではなく、誰でも持っている性質が顕著に見られれば診断対象になります。そのほとんどが幼児期に判明しますが、引きこもりをきっかけに発達障害ではないかと思われるケースも増えています。子どもの頃は発達の遅れや偏りが問題となりますが、小学生くらいから問題行動が出たり、中学生では引きこもり、不登校など、成長過程で表れる問題に対し、地域の様々な福祉や保健機関、学校教育の中でも適切な目で見立てれば、それぞれの場面での見立ては可能であり全てに医療診断が必要とは思いません。支援の対象は広がっており個別に医療が必要となるとき適切なタイミングで医療にアクセスすることが大切。早期発見、診断が重要。発達障害を知るとその人のことが理解しやすくなります。ご本人のペースを尊重できればご本人も得をします。子どもは家族や周りが早く気づいて理解することが大切。発達障害なりに健康に育ってほしいと思う支援が何より必要です。」(内容抜粋)

尚、今回の講演会には外部の病医院、福祉機関などから26名のご参加をいただきました。



## 児童精神科病棟稼働

4月より児童精神科病棟が25床で稼働しております。病棟内はアートであふれ、ブレイルーム壁に描かれた海辺の町は、ずっと眺めたくくなるような広がりやさしさがあります。学習室は小学校を思い出す懐かしさがありますが、全体的に幼い感じは受けず、中学生くらいの子どもさんにも落ち着く空間といえるのではないのでしょうか。【ご紹介に際する見学、お問い合わせは地域医療連携室までご連絡ください。】

児童精神科も定着し、専門スタッフが十分に揃った今、いよいよ入院治療という次の段階へ進んでいきます。ご紹介に際する見学やお問合せはお気軽に地域医療連携室へご連絡ください。

**診療対象:** 強迫神経症、摂食障害、広汎性発達障害、注意欠陥(欠如)多動性障害(ADHD)うつ、不安障害、チック症、神経症、不登校など  
**入院治療:** 病棟は治療の場であると共に、子どもたちが育つ場でもあることから、発達や成長といった視点を大切にしています。ただし、病状によっては、院内の救急病棟などでの入院加療を要する場合があります。



ブレイルーム



学習室